

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 24 日 作成)

委員会名	固定資産評価小委員会	主 査 名：吉田倬郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	固定資産評価基準の適正化に関する調査研究を行うことを基本的な目的とし、本年度は、非木造家屋の評点数の見直しと、家屋評価の在り方の検討における平米単位評価額方式の可能性の検討を行った。	
委員構成 (委員名(所属))	吉田倬郎(工学院大学)小松幸夫(早稲田大学)加藤裕久(小山高専)五十田博(建築研究所)落合一弘(資産評価システム研究センター)平純郎(総務省)宍道恒信(宍道建築設計事務所)鈴木昌樹(建設物価調査会)永岡正義(清水地所)松本真澄(東京都立大学)三橋博巳(日本大学)田村伸夫(NTT ファシリティーズ)村尾睦(大林組)中通健一(住宅金融公庫)塚田賢一(プレハブ建築協会)	
設置 WG (WG 名:目的)	固定資産調査 WG(富永浩吉(大阪市)池上治樹(総務省)中城康彦(明海大学)西成田直人(工学院大学)): 固定資産に関する調査を行う	
2003 年度予算	受託委員会のため予算措置は無	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	(5月8日・WG・5人)(6月12日・17人)(7月15日・16人)(8月20日・17人)(8月29日・WG・6人)(9月26日・14人)(10月28日・16人)(12月10日・17人)(2月4日・15人)(3月12日・16人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 非木造家屋の評点数の見直しに関する報告書と、家屋評価の在り方の検討における平米単位評価額方式の可能性の検討に関する報告書の、2つをとりまとめた。非木造家屋の評点数の見直しに関しては、建築工事や賃金の動向に関する資料を収集し分析を行い、現行の評価基準の見直しについての提案をとりまとめた。家屋評価の在り方の検討における平米単位評価額方式の可能性の検討については、現行の部分別評価方式と比準評価方式との関連において、そのメリット、導入の可能性、課題について検討を行った。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 所期の目的を達成した。
その他評価すべき事項	平米単位評価額方式の可能性の検討の過程で、住宅については、構造別の価格差が、近年、統計資料のレベルではなくなっていることが分かった。